
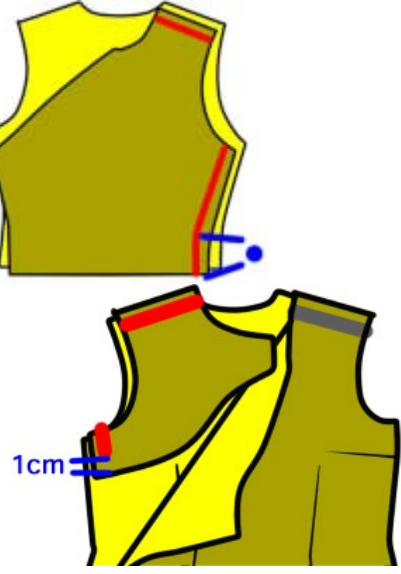
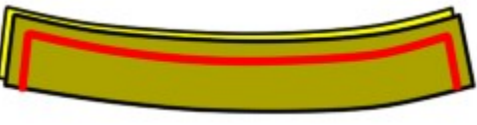
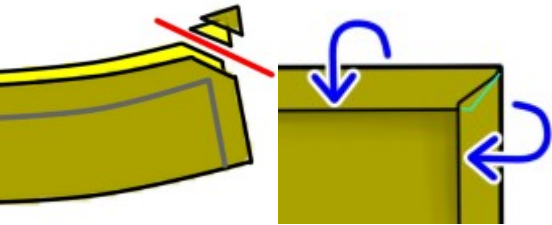

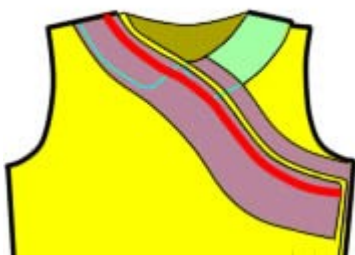
	<p>身頃の<u>ダーツ</u>を縫う。  (このデザインに関してはダーツを縫ってからほつれ止めをしたほうが良い)  全体の布はしに<u>ほつれ止め</u>をする。  <u>ダーツ</u>は前は脇、後は中心に向けて倒してください。</p> 
<p>■ 表 ■ 裏  ■ 接着芯</p>	<p>裁断した全てのパーツの端を<u>ほつれ止め</u>をする。  <u>見返しと持ち出し</u>とえりとカフスと持ち出しの裏に接着芯を付ける  くわしくは<u>縫う前</u>の<u>下準備</u>を参照</p>
	<p>左肩は普通に表同士が内側になるようににあわせ、<u>身頃</u>の肩と脇を縫ってください</p> <p>スリットを作りたいときはその分縫わずにあけてください</p> <p>小さい前身頃の下は、見返しを縫い付けるので1cm縫わずにあけてください。</p>
	<p>えりの表同士が内側になるようにに重ねてください。</p> <p><b>赤い線のところ</b>を縫い合わせます。</p>
	<p>縫い目を切らないよう0.2 cm程はなれた所で、角を切り落とす。  縫い代を折りたたみ表替えます</p>
	<p>表に戻して、表から0.5 cmのところを縫って下さい</p>

えりぐりに襟を重ねてください。



えりと襟首を一緒にほつれどめしてください

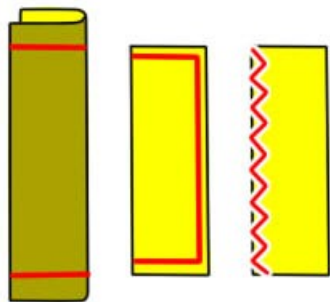


表が見えるようにした身頃に裏を上にした見返しを重ねてください。

カーブの所は縫い目を切らないように切り込みを入れてください。



切り込みを入れないと見返しを裏返した時に引きつります。

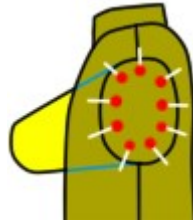
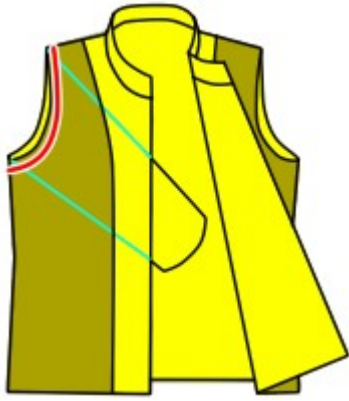


脇の持ち出しを作る



見返しの上に多少重ねて持ち出しを縫いつけます。

	<p>縫い代が身頃側になるよう持ち出しを表がえす。</p> <p>縫い目から 0.2xm の所を縫う。</p> <p>(途中からバイアスがあるので、糸を替えてね)</p>
	<p>すそをアイロンで折って下さい。</p> <p>青い部部は縫い目から 2~3mm の所。</p> <p>赤い線は箸から 5~7mm の所を縫ってください。</p>
	<p>お好みでバイアステープで包んでください</p>
	<p>袖山にギャザーを寄せてください</p>
	<p>そで底を縫う</p>
	<p>表に返して直線で内側からステッチをかけます。</p> <p>アイロンで折りぐせをつけておくと綺麗に縫えますよ！</p>



←横から見頃(胴部分)は裏返して、**そで**は表しておきます。←横から見頃(胴部分)は裏返して、**そで**は表しておきます。

見頃の中にそでを入れます。

肩と、脇を最初にあわせてまち針でとめて下さい。

縫う場所より2~3ミリ横を仕付け糸を使い縫ってください。

しつけをしたら待ち針を全部はずしてください。

ミシンで縫い終わったら仕付け糸ははずしてください



仕上げに縫い代にしっかりアイロンをかけて完成です。  
仕上げのアイロンはしわをのぼすよりも、縫い代にしっかり折り目をつけることが重要です。

スナップボタンを付けてください。

あとはお好みでチャイナボタンを手縫いで縫い付けてください。

### 必要な道具

表生地、接着芯、スナップボタン、お好みでチャイナボタンとバイアステープ

### このデザインに適した生地

・チャイナジャガード チャイナサテン や チャイナブロードというお店も一般的にチャイナ生地と呼ばれる生地です。

素材によって洗濯方法が異なったりするので、素材に注意。

#### ・サテン

光沢のある縞子織りの生地。

これも素材によってお手入れ方法が異なる。

ふわっと軽くなびくようなデザインにしたいなら、薄手のポリエステルサテンがオススメ。

#### ・ポリエステルツイル

アニメや漫画のキャラクターで、普段着としてチャイナ服を着ているようなキャラだとこれがおすすめ。

化繊なので綿ツイルに比べて軽くしわになりにくいです

張りがあります、パニエを下にはいて広げたい場合に向いていますが、張りがある分柔らかくドレープを出したい場合には向きません。

初心者にも扱いやすい生地です。

#### ・綿 ツイル

ポリエステルツイルに比べ、色数が多く柔らかい。

が、出来上がった服を着て長い時間座ったりするとシワが入ります。

比較てきどころでも手に入りやすく、縫いやすい生地です